第66号
昭和40年4月10日

広報 よしわら

発行……吉原市役所
吉原市今泉43の1(電②3111)
編集……市長公室

市民の動き
(3月31日現在)

男	45,081
女	44,198
計	89,279
世帯数	19,863

40年度予算は二十億七百万円

一般・特別会計

★ 吉原市議会三月定例会はさる三月十一日から二十二日まで十日間の会期で開かれました。

★ この定例会には、昭和四十年度予算をはじめ吉原市国民健康保険税条例の一部改正など重要議案六十一件が上程され、いずれも原案通り可決されました。その結果昭和四十年度の当初予算は、一般会計十四億四千二百四十万円 ★ 特別会計五億六千四百八十九万七千円で、総額 ★ はじつに二十億七百二十九万七千円の大型予算 ★ を編成しました。

★ それでは四十年度予算や改正された主な条例などをみてみましょう。

東小へプール設置

教育費は、総額三億一千三十万円ですが、校舎の新改築費として須津小、大淵中、東中にその事業費七千百四十一万円がとられています。伝法小、原田小の校舎改築養護学校新設については、予算化できなかつたので、設計費として百五十万円がとられています。

大淵第二小給食室の新築は、三月末富士本西地区の水道工事が完工したので、建設費二百十万円を計上しました。これで市内の全小中学校に給食施設が備えられました。

浮島地区の学童に水泳の指導をするため、プールの新設が強く望まれていましたが、東小に四百万円をかけて、プールをつくることがきまりました。なお大淵第一小プールについては、水源を確保する必要があるので調査費五十万円をとつています。そのほか高等学校指導要項が改正され、柔道、剣道が正課となるため市立商高に工費七百万円をもつて武道室をつくります。図書館費の主なものは、何んといつても図書の購入ですが、ことしは本棚三基の購入と併せ、三百三十五万円が計上されています。

ごみ焼却炉を増設

健康で幸福な生活をおくるうえに病気はなんといつても大敵です。この大敵をふせぐ措置として各種予防接種、結核健康診断、伝染病予防などがありますが、その経費として八百七十万円が計上されています。

また、最近社会問題にまでなつている、成人病の対策として検診費十万円が、ことしからあてられています。

ごみの量は文化のバロメーターとも言われていますが、現在みなさんの家庭から出るごみの量は一日三〇トンと増ばなしの状況で、したがつて、現在の焼却炉では処理が困難になつてきていますので、二五トンのごみ焼却炉を増設する必要があります。これにあわせ、清掃作業所の倉庫も新築する必要があるので、工事費に二千五百六十万円が計上されています

また、機動力の充実をはかるためロードパッカー（三屯車）の購入費として二百二万円を予算化しています。

懸案の火葬場については、富士、鷹岡の一部事務組合へ加入することがほぼきまりましたので、鷹岡町の火葬場を整備拡充して使用するための工事費一千五百万円がとられています。

市営住宅25戸建設

土木費には、総額二億四百九十一万円が計上されています。その主な事業をみてみますと、住宅難の解消をと、ことしも吉原団地に二階建十四戸、平屋建十一戸を工費二千百三十万円をかけてつくります。

道路事業では、簡易舗装に一千五百万円、伝法原田線など五線の施設に二千三百万円があてられます。

防災街区造成は国、県の補助金に市の補助金を加えた八百六万円をもつて、本町通り第五、七、八街区を対象に実施します。

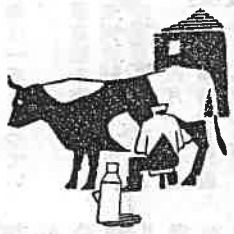
都市計画街路事業五千二百四十七万円は、弥生線、吉原沼津線、吉原大月線の国庫補助事業と日吉新橋線他一線の県事業および市が単独で行なう吉原浮島線ほか二線の改良事業にあてられます。

依田原新田の土地区画整理の測量委託料に、二百万円がとられていますが、これは現在行なわれている、津田青島の区画整理に続き計画されているものです。

橋梁の新改築は、機織橋＝はたおりばし（中里）次郎長橋（次郎長町）清流橋（桧町）昭和橋（柏原町二）の四橋を、工費五百二十万円をもつて行ないます。

商品生産農家の育成

ことしの農政の重点施策は、商品生産農家を育成するため、作目の単純化および主産地化することです。



そこで昨年度から、大淵地区で行なわれている第二次農業構造改善事業が本年度も引き続き実施されます。

この工費は三千百二十万円で、土地基盤の整備、農道の整備に二千百二十四万円を、経営の近代化をはかるためトラクター、共同防除施設の経費に九百六十六万円があてられています。これによつて、いままでかんばつなどの被害になやまされていた同地区が、一大茶園になるのもうすぐです。

林業関係では、山村振興のため、林道丸火線八九〇㍍の延長工事が工費二百五十万円をかけて行なわれます 同じく林道境塚線の新設事業が二年継続で始められます。ことしはとりあえず五〇〇㍍の開設を行なうための工費として、三百万円が計上されています。

造林事業では、高塚地内の一町歩の再造林が行なわれるほか、丸火東の八反五畝の林種転換が実施されます。なお耕地改良事業費には、総額三千五十八万円があてられます。

一般会計歳入・歳出予算一覧

歳出

款別	予算額	%
議会費	32,424	2.2%
総務費	210,980	14.6%
民生費	124,762	8.6%
衛生費	108,560	7.6%
農林水産費	99,351	6.9%
土木費	204,911	14.2%
消防費	47,634	3.3%
教育費	310,308	21.5%
公債費	102,016	7.1%
その他	201,454	14.0%
歳出合計	**1,442,400**	**100%**

歳入 (単位千円)

款別	予算額	%
市税	901,971	62.5%
使用料及手数料	43,045	3.0%
国庫支出金	113,350	7.8%
諸収入	44,793	3.1%
市債	99,000	6.9%
財産収入	185,751	12.9%
その他	54,540	3.8%
歳入合計	**1,442,400**	**100%**

新たに公害調査費設ける

商工費の主なものでは、中小企業に対する融資制度（小口融資、と年末融資）を確立するための預託金一千五百万円が、さくねんに引き続き計上されました。また、今年から新しく公害調査費十万円がとられています。これは、産業の発展とともに発生が予想される公害の未然防止、早期解決に一役買おうとするものです。

化学消防車購入 水槽は10カ所へ

防火施設の整備については、最近の水不足を考え、本年度も五百六十万円をかけ、防火水槽十基の建設を行なうことになりました。また、田子浦港石油配分基地の建設、各地で発生している油火災などを考え、消防力を近代化する必要があるので、これに対応できる性能を備えた、化学消防車一台を購入するための費用三百五十万円が計上されています。

第4保育園を新設 青少年育成百万円

乳、幼児の保育施設は、現在第一、第二保育園など四施設（私立を含むと六施設）がありますが、ことしも八百五十万円をかけ、第四保育園を新設します。生活保護費については、昨年とほぼ同額の三千五百三十万円が、老人福祉費には六百二十三万円があてられています。青少年保護育成については、昭和三十一年来行政と市民が一丸となり、積極的な〝町ぐるみ運動〟を展開しています。ことしも、関係機関と連けいを密にして着実に青少年の健全育成を図つていきます。経費については、防犯灯の設置など百万円が計上されています。